

孫正義「働く君たちへ」

腹の底からの思いを語ろう「日本をもう一度蘇らせる」

前に進むために何をするかを考える。

{ 第一回目の人生の勝負 }

15歳の時に1ヶ月間、英語研修のために米国へ行った時の体験～米国は広かった！世界で一番大きな国、一番文明が発達し力があり輝くばかりの米国！

坂本龍馬・吉田松陰も命がけで見たい米国に行けた、そして16歳の時に志を立て退路を断って渡米、トイレでも歩いていても本を手放さず読み・車でもイヤホンで聞く・寝ている僅かな時間以外はすべて勉強、高校2年で入学し、1週間で3年に、5日間で4年生、更に大学検定試験に合格して大学に入った。

{ 身体がしびれるほどの感動 }

運命の出会い～大学1年生（17歳）の時、マイクロコンピュータのチップを見た、ポロポロと涙が出るほど感銘。

{ 19歳の時に人生50ヶ年計画を立てた }

1. 20歳で事業を起こし、一生かけると決めた業界で名乗りを上げる。
2. 30代で軍資金を1千億円単位で貯める。
3. 40代でひと勝負、1～2兆円の規模。
4. 50代である程度の事業ビジネスモデルを完成させる。
5. 60代で次の経営陣にバトンタッチ、10年毎にすべきことは何か考える

{ ソフトバンク創業1ヶ月で勝負 }

資本金1千万円、エレクトロニクスショーで8百万円・会社PRの雑誌に2百万円で資本金を使い切った、1週間後に上新電機から是非取引したいと云われて独占契約締結、初年度の売り上げは20億円・1年と少しで45億円に。

{ 本当に夢中になれるものに出会ったなら }

アポイントを取るときに仕事の話があるから午前3時に来てくれと云ったことも、必ず多くに人の役に立つ絶対にやり遂げなくてはならない事には命を張って進む、若い時にしかできない働き方をする。

{ 一つの事にこだわらない }

「情報革命で人々を幸せにする！」大事なのはそこだけ！特定のテクノロジー・ビジネスモデルに一切こだわらない。

{ 守りの真の意味 }

企業では金（資金繰り・経理・管理）と正義（正しいこと以外やってはいけない）

{ リーダーに求められる条件とは }

「志」あるのみ、リーダーは退職金の計算などしない、グループを 800 社にする
と云い実現したので次は 5000 社と公言している。

{ 独創性を鍛える }

一日一つの発明をして、その中の一つを 1 年かけて開発することを目標とした、
発明の発想法は ①問題解決法 ②水平思考法 ③組み合わせ法
最終的に 250 個の発明が生まれた、一日一つの発明は勉強以外に 5 分の時間で

{ 人を巻き込む力 }

世界初のフルキーボードのポケットコンピュータの走りを完成させる為に、
世界的に有名な大学の教授や研究者に声掛け、時給は先方任せ、但し特許を取り
売れたら全額支払うとの条件は・・・笑って了解された。

最初の発明品の特許はシャープに売り込み 1 年半で 1 億 7 千万円稼いだ。

{ 相手からの学び方 }

30 代で上場して時価総額は 2 千億円になった、世界最大の米国のコンピュータ
展示会「コムデックス」を 800 億円で買収、更に世界最大のコンピュータ業界
専門出版社ジフデービスを 2300 億円で同時に買収し計 3100 億円を投資。

{ 勝つ戦いの流儀 }

ブロードバンドに参入したとき、NTTの料金の五分之一、世界で一番安く、
速度はNTTの4倍、米国・欧州・中国の10倍の速さは世界NO1、一晩で100
万件の申し込み、しかしお客を半年以上お待たせ、NTTの回線を繋ぐため総務
省にも掛け合い役人の前で灯油を被って自殺覚悟でお金や権利は一つも要求し
ないからとにかくNTTにフェヤーにしてほしいと訴えて大きな山が動いた。

{ タイミングという絶対の武器 }

勝率五分五分ではなく必ず 7 割、意地になってはダメ、全体の収益や企業価値の 3 割を超える損失が出たら 10 倍の勇気を出して撤退、意地で選べば失敗だ

{ 志を高く }

一冊の本が人の人生を決めることがある、「竜馬がゆく」を読んで竜馬のように頑張ってみたいと、金銭欲ではなく、百万人・千万人の為に貢献したい。

志とは何か？考えさせられるきっかけとなった。

日々の充実度は目標の掲げ方次第「登りたい山を 1 年以内に決める」その為に二度とない人生の時間を無駄にしない。

{ 99%の人と1%の人を分けるもの }

一生懸命・根性論に逃げない、自分の人生は何だ、自分は何事をなしたか？最初の一步を左右する「目指すべき山」を決めることだ、一流の人材は報酬目当てではなく会社を本当に成功させたいと真剣に考えている。

{ やるべきことを徹底する }

銀行からの借り入れ 2 兆円の返済を優先していた時、電波が繋がらないといわれてハッ！と目が覚める思いがした、98%では満足せず、電波改善宣言！1%改善するのに基地局を倍増と腹を括り、更に残りの1%にも誠意を示した。

{ 圧倒的NO1を目指す }

ポータフォンジャパンを買収したとき、業界 3 番目に甘んじていた、毎月純増NO1を取る事であり勝ち癖(*)をつけていった、デジタル情報革命の時代で一番を取るためのキーワードはアジアNO1、インターネットのセーヤーも10年前には米国50%、アジア19%が今ではアジア50%と逆転した。

問題は4つのみ(*)

- ① 端末がダサイ
- ② ネットワークが繋がりにくい
- ③ 営業とブランディングが弱い
- ④ コンテンツがない~解決すれば勝機あり。

{ 自分の一生をかけるにふさわしい仕事とは }

- ① 最低 50 年飽きずに深い関心と冷めた情熱を持ち続けられるか
- ② 時代の流れに合う仕事か

③ 最低でも日本一、できれば世界一になれるか
高杉晋作の「面白きこともない世を面白く」自分で面白い世にする志を持つ。

{ 責任から逃げない }

ネットバブル崩壊で株価は1年で100分の一に、世間からは犯罪者扱い、資金もなく大変だった、株主総会でも非難の嵐、その時、ある女性が「主人の残してくれた退職金1千万円で全部ソフトバンクの株式を買った、それは会社の夢と志を信じたから～信じているから頑張っ！」と言われた女性の姿は今も孫正義の心に焼き付いて離れない。

{ 戦略眼を持つ }

坂本龍馬の脱藩決意を姉が後押し、「土佐に収まりきる男ではない」と・・・亀山社中（後の海援隊）を作り、長崎と中国の商売、仲の悪かった薩摩と長州を大義の為に手を組ませ、船中八策で新国家の構想8ヶ条を示した。

{ 厄介な人間になれ }

西郷隆盛は「名も名誉も命もいらぬ人ほど世の中の始末に負えぬものはない」と言わしめたが、それほどの覚悟があれば事はなせる。

{ IT革命は日本が輝きを取り戻すチャンス }

農業革命・産業革命に次ぐ第三次の革命で人類の歴史の中で最も大きな革命、日本が唯一復活できるのは脳みそがちぎれるくらいに考える頭の勝負だ。

{ 山は誰かと一緒に登れ }

志を同じくする人と一緒に登る山は楽しい！3年間の入院中に4千冊の本を読み考えたことは家族の笑顔・お客様の笑顔・そしてどこの誰とも分からない人からの「ありがとう！」それこそが究極の自己満足の答えだった！

人生で最も悲しいことは「身近な人の死」「孤独」「絶望」であった！

最も幸せなことは「日々生きていること」の感動であると！

少しでも幸せを提供でき、人類がもっと平和になって、もっと多くの人が幸せになれる、そんな世の中に貢献することが一人ひとりの「人生の命題」を全うすることになるのではないだろうか。